

4.キャリアアップに資する教育訓練（別紙）

訓練名	訓練内容	左記訓練がキャリアアップに資する理由
現場業務の基礎・管理手法基礎	当該建設工事の施工計画の作成、工程管理、品質管理、安全管理その他の技術上の管理教育を行う。	現場を管理する仕事で、現場作業は行わず、現場工事の計画から施工まで幅広く関わり、基礎の建設業工事管理の仕方を習得することにより能力を向上させ、長期就労に結びつく。
工程（施工順序・手段）管理手法	生産の現場での無駄を省き、生産性を上げる目的での工程管理を行う。 そのための基本となる「計画（Plan）」「実施（Do）」「検討（Check）」「処置（Action）」のPDCAを学ぶ。	適正な工程で現場が回るため、一定の品質と生産性を保ち「最小の費用で最大の生産」の目標を達成することができる。さらに工程管理の精度を上げていくことにより顧客満足度を高めることにつながり、個人のスキルアップの環境が整う。
品質（強度・材料・構造等）管理手法	品質管理とは、質の高い建造物(完成したときに必要とされる強度や密度などの規定値を満たしている)にするために、最適な条件の下で材料が使えるように環境を整える。そのため品質目標を定めて展開し、実施結果に基づき有効性を評価し定期的見直し(PDCAサイクル)を行う。	不具合の未然防止を図るとともに、顧客の要求品質に応えることで、最良のものづくりに取り組む。結果顧客満足度を高めることにつながり、スキルアップの可能性が広がる。
二級土木施工管理技士取得支援	現場管理の基礎のとしての資格、二級土木施工管理技士取得を支援し、施工管理者として必要な知識等を習得させる。	施工管理技士の資格を取得することによって、待遇改善や転職に役立てることもできる。
一級土木施工管理技士取得支援	二級土木施工管理技士取得者に対し、より高度な施工管理者としての一級土木施工管理技士の資格取得を支援、更なる能力向上を目指す。	現在復興工事等においてこの資格の需要が急激に高まっているおり、好条件でのスキルアップが期待できる。また資格の保有者は、社会保険労務士の受験資格が得られ意識高揚につながる。
労務管理・マネジメント実践研修	現場での施工管理のみにとどまらず人材を管理、育成するための研修を行う。	事業所で欠かすことのできない労務管理等の研修、経験を積ませることで、人材育成の能力、スキルを向上させ個人としての資質を広げ、将来的には多くの企業に貢献できるようになる。